

※今月のみ受注の書目です。

朝鮮半島史

韓国軍事主義の起源

青年朴正熙と日本陸軍

(2024 年 8 月下旬刊行予定)

カーター・J・エッカート (ハーバード大学大学院東アジア研究会韓国史講座教授) [著] /
松谷基和 (東北学院大学准教授) [訳]

A5 判上製 / 512 頁 税込予価 7,920 円 ISBN978-4-7664-2976-3 C3022

👉 ココに注目!

- ・アメリカの朝鮮史研究の泰斗である著者の集大成。
- ・韓国近代史の核心である「軍事主義」と、それを体現する「朴正熙」の満洲時代に迫る。

韓国近代化の起源を、朴正熙の完成させた「軍事主義」に見出し、その基礎が日本統治時代にいかに築かれたかを明らかにする。朴の学んだ満洲陸軍学校を徹底分析することで、韓国に移植された日本陸軍の「勝利」と「服従」の精神を探る一級の歴史研究。

対象 軍事に関連した歴史研究書の読者 / 朴正熙、または朝鮮、東アジア史に興味を持つ読者

類書 カーター・J・エッカート『日本帝国の申し子—高敞の金一族と韓国資本主義の植民地起源 1876-1945』(草思社)

【日本版刊行に際して、著者エッカート氏よりのコメント】

現代韓国史を理解する上で、朴正熙とその軍事政権がもたらした政治経済的变化は決定的に重要である。しかし、さらに重要なことは、朴正熙ら軍人が誕生し、社会で台頭し、政権を握るまでに至った歴史自体が、近現代の朝鮮社会の根源的变化を示す重要な指標であるという点である。本書は「軍事主義」をキーワードに、朴正熙らが育った歴史的背景と彼らが受けた満州国と日本での士官学校教育の意味を、朝鮮近現代史の視座から問い直す。

👉 目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

まえがき／日本語版まえがき

序論

第一部 軍事化の歴史的背景

第一章 軍事化の時代——戦争の波

時間軸／グローバルな連環／朝鮮王朝軍／第一の軍事化の波／新しい軍事知識の流入／朝土視察団／
1880年代の高宗治下の軍事国家化／1894年以後の軍事化／大韓帝国期の軍事化／新しい軍の建設／
1895－1904年の軍事拡大と発展

第二章 精神の軍事化——陸軍と民族に関する新思考

兪吉濬（1856－1914）／朴泳孝（1861－1939）／「武」という価値／朝鮮王朝後期の武人的徳目／
併合後の遺産と連続性

第三章 場所と人の軍事化——士官学校と生徒たち

軍事化の第二波と植民地朝鮮の学校／軍事化の第二波と士官学校／満洲国軍／中央陸軍訓練所／満洲国軍官学校／
満洲国軍官学校の生徒／軍事への愛着／ナショナリズムの問題／軍校生活の楽しみ／上を目指す将校、朴正熙／
模範的な生徒、朴正熙／熱狂的な生徒、朴正熙

第二部 士官学校の文化と行動様式

第四章 政治と職分——殊遇」の身分

場所／外観／言語／身体／娑婆からの隔離／軍の大国柱／侍の英雄との絆／明治維新の後裔／勝利の歴史の後継者／
天皇の股肱／象徴的存在

第五章 政治と権力——特異な職分

反逆としての明治維新／脆弱な憲法体制／陸軍の世論の反応／朝鮮王朝後期との共通点／1930年代に見る朝鮮王朝の伝統／
満洲事変の遺産／政治的避難所としての満洲／満洲国の文脈における軍官学校／陸士での根強い昭和維新支持

第六章 国家と社会——革命、改革、統制

前近代の遺産／資本主義に対する批判／革命——マルキシズムと左翼／日本帝国内のマルキシズムと民族的ナショナリズム／
軍校での革命活動／校内マルクス主義研究会のしぶとさ／満系内の朝鮮人候補生／改革——昭和維新主義者／
資本主義の「悲惨なる壊滅」／革命ではなく「革新」／国家の毒としての資本主義／支配ではなく、触媒としてのクーデター／
1940年代の陸軍士官学校における昭和維新主義／統制——総力戦イデオロギー／陸軍の教義としての総力戦／
総力戦と資本主義／軍官学校における総力戦シナジー／原案——基本計画／団結／総力戦の教育

第七章 戦術と精神——必勝の信念

士官学校における攻撃理論／学校での攻撃に係る教育／攻撃の指導教官／田原耕三／「攻撃精神」と意志／
士官学校における意志の鍛錬——教室において／士官学校での意志教育——「ズベル」／必勝の信念／
戦術と精神を体現する剣道／戦争末期の激烈さ

第八章 秩序と規律——服従の喜び

日常生活の秩序と規則／服従とヒエラルキー／階級間の双務性／例外が規則を作る／上からの監視／内部からの監視／
自己検閲／懲罰／学校の伝統としての「殴打」

序論

軍官学校の終焉／陸軍士官学校の終焉／新たな始まり

付録

軍官学校朝鮮人卒業生名簿／参考文献／訳者解説／索引



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			カーター・J・エッカート 著／松谷基和 訳 韓国軍事主義の起源 一青年朴正熙と日本陸軍 ISBN978-4-7664-2976-3 C3022	7,920 円	★★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	鄭鍾賢 著／渡辺直紀 訳 帝国大学の朝鮮人—大韓民国エリートの起源 ISBN978-4-7664-2735-6 C0021	定価(税込)
				3,740 円
		ご注文部数	小野容照 著 韓国「建国」の起源を探る—三・一独立運動とナショナリズムの変遷 ISBN978-4-7664-2785-1 C3022	2,970 円
		ご注文部数	小此木政夫 著 朝鮮分断の起源—独立と統一の相克 ISBN978-4-7664-2545-1 C3331	8,800 円
発行所：慶應義塾大学出版会				